

2. 学会発表要旨

黒毛和種市場出荷子牛の発育値および価格に及ぼす 母方祖父牛および母方曾祖父牛の影響

伊 東 繁 丸

(第37回西日本畜産学会講演要旨) 1986. 10. 15. 宮崎大学農学部

目 的：繁殖用素牛や肥育用素牛を導入する際には種雄牛，母方祖父牛および母方曾祖父牛を考慮しつつ，体形や発育値で評価し，候補牛を選定している。しかし，目的とする特定種雄牛の子牛が，母方祖父牛や母方曾祖父牛から発育値や価格にどれだけの影響を受けているかについては，資料がほとんどないため，素牛選定で苦慮している。

本研究では子牛市場に出荷されている特定種雄牛の子牛の発育値や価格に対する，母方祖父牛および母方曾祖父牛の影響を明らかにするとともに，発育値や価格が高くなる場合の種雄牛の組合せを明らかにし，素牛導入および優良子牛生産の基礎資料を得ようとした。

方 法：市場に出荷された同一種雄牛の子牛1206頭について，体重，体高，胸囲，栄養度指数，日齢体重，価格および生体単価を調査し，7頭の母方祖父牛間で比較した。更に，子牛606頭について，母方曾祖父牛間で発育値や価格を比較した。

結 果：母方祖父牛の違いによって，去勢牛では体重，体高，胸囲，日齢体重，価格および生体単価に有意な差が認められた。優れた母方祖父牛をもつ子牛間では，体重で20kg，価格で7万5千円の差が認められた。雌子牛でも体重，価格および生体単価に有意な差が認められ，優れた母方祖父牛をもつ子牛と劣った母方祖父牛をもつ子牛間では，体重で16.4kg，価格で8万9千円の差が認められた。体重が大きくなる母方祖父牛をもつ子牛は，去勢牛と雌牛で母方祖父牛にいくらかの違いが認められた。しかし，体重が小さくなる母方祖父牛をもつ子牛では，両性ともそれぞれ同一の母方祖父牛をもっていた。子牛の価格が高くなる母方祖父牛からの子牛と低くなる母方祖父牛からの子牛は両性ともそれぞれ同一の母方祖父牛をもっていた。

母方曾祖父牛の違いによる子牛の発育値や価格の違いを見ると，7頭の母方祖父牛中6頭の母方祖父牛からの子牛で，発育値や価格に有意な差が認められた。薩摩地区で田安春を種雄牛に用いた場合，日齢体重では母方祖父牛－母方曾祖父牛がそれぞれ，第8宝春－吉栄光，太陽－月光，金水九－第8宝春，第5気高－宝竜および金水九－吉栄光である時に大きい値を示した。また，価格では母方祖父牛－母方曾祖父牛がそれぞれ，金水九－第8宝春，第8宝春－吉栄光，金水九－吉栄光および第5気高－吉栄光であるとき高い値を示した。